



鹿児島県

令和2年度

県民総スポーツすすむ



中高保健体育実技講座



体育センターがやってきた



女性のための
スポーツ・レクリエーション教室



小学校体育実技基礎講座



鹿児島県総合体育センター

いい汗 いい顔 いい気分 さわやかスポーツライフ

はじめに



鹿児島県総合体育センター
所長 山口良人

令和2年は、コロナウイルス感染拡大により、「東京オリンピック・パラリンピック」「燃ゆる感動かごしま国体・鹿児島大会」の延期など、スポーツ界にとって激動の年となりました。私たちの日常も大きく様変わりし、身近にあるスポーツイベントの多くも中止・延期となりました。

当センターでも、コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、様々な事業が中止や延期、規模縮小となりました。そのような中でも「スポーツの歩みを止めるな。」の合い言葉の下、感染症対策を十分に講じながら最大限の努力を重ねてきました。

当センターが今年度、県民約3,000人を対象に実施した「生涯スポーツ振興のための調査」では、成人の週1回以上のスポーツ実施率は前回（H29年度）の調査より3.3%上昇の73.5%となり、県民の健康に対する意識の高まりを感じています。また、総合型地域スポーツクラブ（コミュニティスポーツクラブ）の認知率は前回から9.1%上昇の49.3%になりましたが、認知率向上に向けた更なる取組の必要性を感じています。現在、県内には56のコミュニティスポーツクラブが設立されており、当センターでは、それらのクラブと連携し、女性や障害者のスポーツ環境の向上を図る教室や、スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」の開催など、各種事業に取り組んでいます。これらの事業をとおしてコミュニティスポーツクラブの充実に努めてまいります。

さらに、当センターでは、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を培うことができるように、学校体育の充実を図るための取組も行っています。平成29年告示の小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領は、令和2年度に小学校、翌3年度に中学校が全面実施となり、平成30年告示の高等学校学習指導要領は、令和4年度から年次進行で実施となります。主体的・対話的で深い学びの視点で体育・保健体育の授業改善が図られるよう、全ての校種の教員を対象とした短期研修講座や自主研修講座等を実施し、教員の資質能力の向上に努めています。

ここに、当センターが令和2年度に取り組んだ各事業内容とその成果をまとめた「令和2年度県民総スポーツすすむ」を刊行しました。ぜひ、御高覧いただき、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興の一助となれば幸いです。

目 次

1	令和2年度鹿児島県総合体育センター事業概要	1
2	令和2年度鹿児島県総合体育センター事業等	2
1	スポーツ・レクリエーション活動の支援	
(1)	普及・奨励	
ア	普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施	
(ア)	スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」	
a	春「こどもの日」～ふれあいプラザ～	
b	秋「体育の日」～スポーツプラザ～	
c	元旦「太陽とともに走ろう」	
d	スポーツ・レクリエーション体験教室「体育センターがやってきた！」	
(イ)	暑中げいこ・寒げいこ	
(ウ)	地方青少年武道錬成大会	
イ	女性のためのスポーツ・レクリエーション教室	
ウ	わくわくスポーツ・レクリエーション教室	
エ	市町村等のスポーツ・レクリエーション活動への支援	
(ア)	指導者派遣・広報	
(イ)	スポーツ・レクリエーション用具の貸出し	
(2)	指導者の養成と資質向上	11
ア	スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成講習会	
イ	柔道指導者講習会	
ウ	地域社会武道指導者研修会	
エ	アウトドア活動指導者育成講習会	
(3)	コミュニティスポーツクラブの育成支援	15
ア	活動調査	
(ア)	設立支援状況調査	
(イ)	運営状況調査	
イ	情報提供・相談	
ウ	広域スポーツセンター研修会	
エ	総合型地域スポーツクラブ説明会	
オ	コミスポ育成のための事業	
カ	認知度向上推進事業	
キ	県コミュニティスポーツクラブ連絡協議会への支援	
(4)	情報提供、相談体制及び調査研究の充実	18
ア	県民のニーズに即応した情報の提供	
(ア)	スポーツ情報交換会	
(イ)	刊行物の作成・発行	
a	総合体育センターだより	
b	県民総スポーツすすむ	
(ウ)	ホームページ・フェイスブックによる情報提供	
イ	スポーツ・レクリエーション相談体制の充実	
2	学校体育の充実	21
(1)	教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実	
ア	悉皆研修や短期研修講座等（体育・保健体育）の充実	
(ア)	短期研修講座	
a	水泳指導法講座	
b	小学校体育実技基礎講座	
c	小学校体育授業づくり講座	
d	中高保健体育授業づくり講座	
e	中高保健体育実技講座	
イ	自主研修講座の充実	
(ア)	体育・保健体育指導法講座	
(イ)	体育授業づくり来所研修	
ウ	各種研修会や校内研修会等への職員派遣	
(2)	学校体育に関する資料の提供（ホームページ・フェイスブック）	
3	生涯スポーツ振興のための調査	30

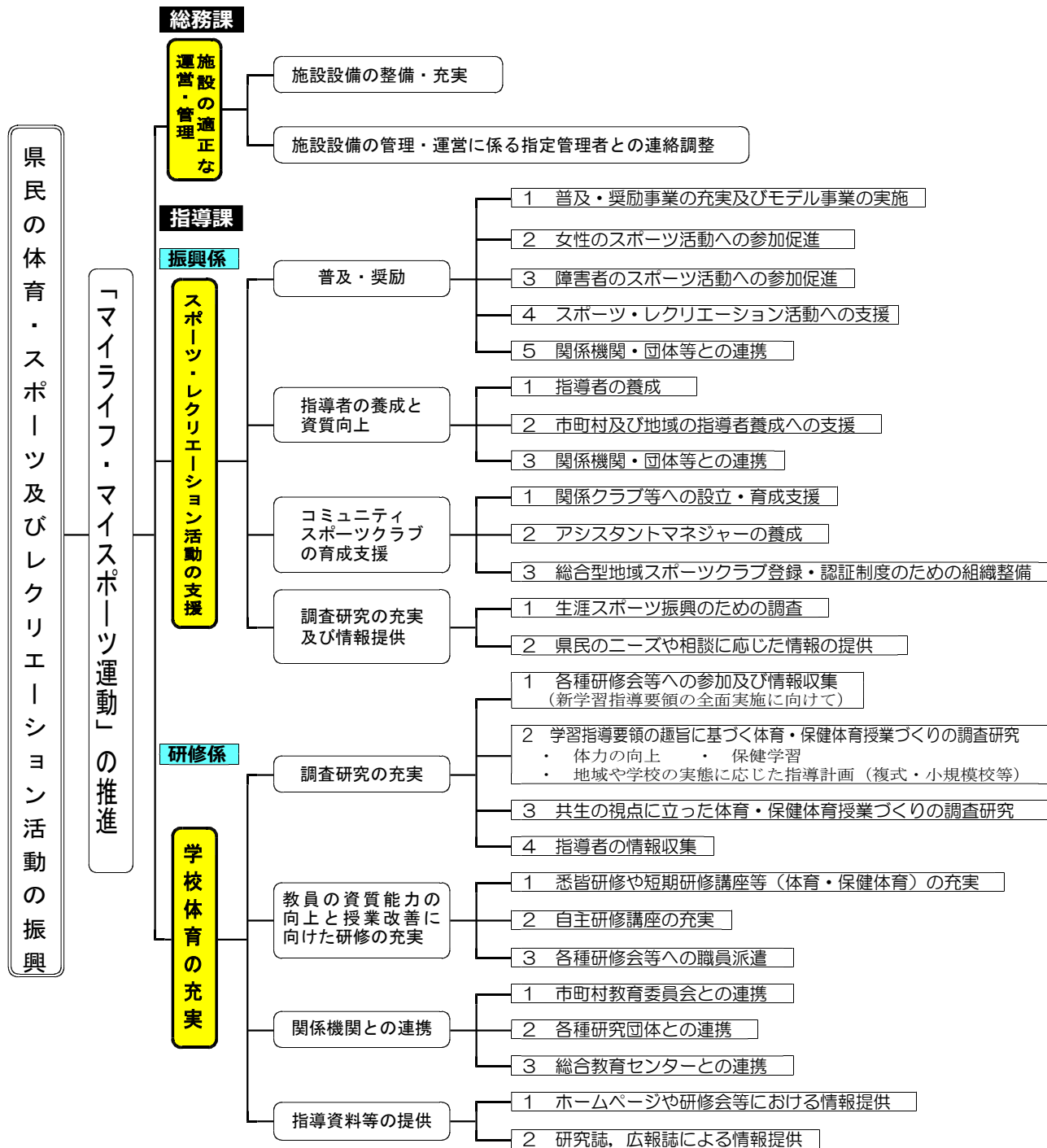
1 令和2年度鹿児島県総合体育センター事業概要

1 運営方針

総合体育センターは、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興を図る拠点として、次の視点で事業を展開する。

- (1) 施設設備の整備・充実と適正な管理・運営に努める。
- (2) スポーツ・レクリエーション活動の普及・奨励を推進するとともに、指導者の養成と資質向上に努め、県民の健康増進と体力向上を図る。
また、その活動の地域の拠点となるコミュニティスポーツクラブの育成支援に努める。
- (3) 学校体育に係る教員の資質能力の向上と授業改善に向けた調査研究や研修会等の充実に努め、児童生徒の運動習慣の育成と体力・運動能力の向上を図る。

2 努力点



3 目標

- 生涯スポーツ指導者の育成を図る。
- 各種研修講座及び職員派遣事業の充実により、教員の資質能力の向上及び授業改善を図る。
- コミュニティスポーツクラブの認知度100%を目指す。
- 成人の週1回以上のスポーツ実施率70%を目指す。